



佐藤 守正

役場の仕事をもっと町民に 親身なものにするために

質問

町民にもサラ金の多重債務で苦しんでいる人は一定数いるだろうが、その発見は税務課が税を集める仕事の中で可能だと思う。見つかったらその救済のために町も動くべきである。国からそのような取り組みをするようにと要請されているはずだが、どうなっているか。

町長答弁

プライベートシーや人権の問題もあるので、個人の借金の問題を町が関与できるかどうか問題だ。そこを考えながら対応したい。

質問

「町づくり町民参加条例」を作るというのは町長の公

約であった。どこまで進んでいるのか。

町長答弁

この条例は本当に必要なのかどうか、これから作る総合計画基本構想に組み入れることでその理念は実現できないのか、これから検討してみたい。

質問

多くの自発的な町民に集まってもらって作った「湯沢町自立プラン」は、一年経ってもそれがどう活かされているか見えてこない。どうなっているのか。

町長答弁

手弁当で集まっていただけ作ったものなので、それを参考に町政運営に当たりたい。いずれ参加した皆

さんに報告するような機会を作りたいと考えている。

質問

町は職員の人事考課（勤務評定）を行い、その成績で職員の期末勤勉手当に格差をつけることを行っている。役場の仕事は、職員が力を合わせ共同ですることが本来の姿なのに、それを阻害している。職員の間でも、これで賃金に格差をつけるのは止めてほしいという声が圧倒的だ。役職への登用や人事配置のために勤務の評価は必要だが、しかし成績が悪いとされた人のボーナスをカットし、それを原資に成績よしとされた人の上積みするといった毒を含んだ形ではやるべきではない。人事考課制度に対する町長の評価を伺う。

町長答弁

湯沢町では私が町長になる以前からこれが行われていて、どのように実施されているのか気にはかかってきた。今紹介されたような声は私の耳までは届いていなかったもので、自分で確認をしてみたい。

質問

役場の機構改革で、課長の下に班長を置き、それを全て管理職と位置つけた。

しかし班長は管理職としての権限が充分ないままに責任だけが大きくなっていて部下職員にとっても全く魅力のないポストになっている。人事管理としては再検討が必要なのではないか。

町長答弁

毎月班長会議を開いて班長の意見を聞いていますが、そのような意見は出ていない。来年以降どうするかは行政改革検討委員会を立ち上げて検討したい。



人事考課制度は職員の資質向上に役立っているか